

ひざし

2019 3

No. 241



第14回 ジャガリンピックの様子

過去最多16品目が頂点を争う 第14回じゃがリンピック



撮影：JAえんゆう

あぐり王国北海道の取材が入りました！！



金メダルに輝いた
豚しゃぶのせポテキャベサダ

白滝じゃが生産部会加工班は、2月16日に遠軽町白滝国際交流センター・コピエにて、じゃがリンピックを開催致しました。

はじめに生産組合加工班の大久保真由美班長からの開会挨拶、来賓からの祝辞を頂いた後、今大会の参加者から出品した創作じゃがいも料理の説明が行われました。

審査基準である「美味しさ」・「手軽さ」・「作ってみたいと思う料理」の3項目のもと、審査員9名が厳正な審査を行います。今年は過去最多の16品が出品され、包丁や火を使わない料理など参加者が工夫を凝らした創作じゃがいも料理が並びました。審査講評で「塩味の揚げたジャガイモがサラダを引き立て、箸が進みまいた。作り方も簡単で、作ってみたいと思いました。」と審査員から高

い評価を得た、遠軽町生田原の高橋玲子さん作「豚しゃぶのせポテキャベサダ」が金メダルを受賞致しました。

また、大会当日はHBC北海道放送の「あぐり王国北海道NEXT」の撮影クルーも入り、インタビュアーを受けた参加者は緊張しながら大会の感想や自分の出品作について説明した他、ジャガイモに関するクイズ大会が行われるなど、盛会のうちに終了致しました。

なお、今回のメダル受賞者は以下の通りとなっております。

金メダル

豚しゃぶのせポテキャベサダ

高橋 玲子さん

銀メダル

白滝じゃがのチーズスティック

遠軽小学校5年

遠藤さん

辻さん 斎藤さん

銅メダル

じゃがゴレン

小田島英美さん

じゃがザンギ

神山 彩乃さん

豊穣の秋を願い 今年も玉葱の播種作業が始まりました



専用の機械を使ってビニールハウス内に
育苗マットを敷きつめていく山田さん

立春が過ぎて冬の寒さも少し和らいできた2月中旬、上湧別地区の玉葱栽培農家では、播種作業が一斉に始まりました。

玉葱は例年2月中旬から極早生種、早生種、中晩生種の順で育苗マットに種をまき、ビニールハウス内で育苗マットを敷き詰めていく「床伏せ」と呼ばれる作業を行います。その後、定期的な灌水と毎日の温度管理を行い、4月下旬から始まる苗の移植に向け、大切に育てられていきます。

今回取材に伺った湧別町北兵村一区の山田忍さんのお宅では、今年はおよそ10haを作付する予定。山田さんは「昨年は夏の天候不順がありました。過去の経験を活かし、対策を行っていたので収量は一昨年より良かったです。今年は雪が少ないので夏の天候が不安ですが、消費者に良い玉葱を届けられるよう頑張っていきたいです。」と話してくれました。

上湧別地区の玉葱播種・ビニールハウス内での床伏せ作業は、3月上旬まで続けられる予定となっております。

今年も農作業事故にご留意されるとともに、豊穣の秋を迎えられることをご祈念申し上げます。

◆ 今月の主な記事 ◆

- ◎ 第14回じゃがりんピック……………2
- ◎ 今年も玉葱の播種作業が始まりました
した……………3
- ◎ JAえんゆう女性部第20回通常総
会開催
- ◎ オホーツクJA女性部大会……………4
- ◎ 酪農青年部研修会
- ◎ えんゆう乳牛検定組合講習会
- ◎ 株式会社安国コーポレートファ
ム設立……………5
- ◎ JAグループ通信……………6
- ◎ 普及センターより……………7
- ◎ 理事会のあらまし
- ◎ 読者の声
- ◎ お詫びと訂正……………8
- ◎ クロスワードパズル
- ◎ 労働保険・傷害共済の年度更新取
りまとめについて……………9
- ◎ 春の農事部懇談会開催について
- ◎ いもたま作造くん……………10

JAえんゆう女性部 第20回通常総会開催

JAえんゆう女性部は、2月12日に第20回通常総会をJA本所大会議室で部員74名が出席し、各関係機関から来賓各位を迎えて開催しました。

冒頭、開会のあいさつで松浦三代紀女性部長は、昨年度の天候不良や地震によるブラックアウトの中、部



開会にあたりJA女性部綱領を朗読する女性部員（写真上）と開会挨拶をする松浦三代紀部長（左円内）

員各位の女性部活動に対するご理解とご協力に感謝の言葉、今年度の女性部活動への積極的な参加へのお願いを話しました。

来賓からの祝辞、祝電披露のあと、議長に上富美の山口由美子さん、生田原の西原弘子さんの2名が選出され、議事進行を行い、平成30年度事業報告ならびに収支決算、平成31年度事業計画案ならびに収支予算案、役員改選等、全提出議案が滞りなく審議され、満場一致で承認されました。最後に新JA女性の歌を出席者全員で唄い、盛会のうちに閉会となりました。

JAえんゆう女性部 新役員

部長 松浦三代紀（北兵村三区）
 副部長 松田美由紀（富美）
 副部長 北村 広子（北兵村一区）
 監事 高柳 千鶴（北兵村二区）
 監事 姉崎久美子（旭）

オホーツクJA女性部大会



研修でお辞儀の作法を実践する女性部員のみなさん

オホーツクJA女性協議会は2月1日から2日にかけて、第37回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会を北見市留辺蘂町大江本家にて開催、網走管内一円から267名、JAえんゆう女性部からも部員16名が参加致しました。

初めに、管内女性協議会長の挨拶、来賓祝辞の後、道女性協主催の研修会報告および他JA女性部の組織

活動体験・家の光記事活用体験の発表が行われました。このうち組織活動体験発表では、JAえんゆう女性部が今大会の発表組織となっており、松浦三代紀部長によるえんゆう女性部の発表は盛大な拍手を頂きました。講演では作家・エッセイストの森久美子氏による「オホーツクの農業女性の能力を活かした魅力ある地域づくり」を題目に、森氏がアメリカへ農業視察での体験、日本農業の今後の課題についてお話しして頂きました。講演後の全体懇親会では、各JA

女性部によるアトラクションが持ち回りでおこなわれた他、他農協の女性部員の方々と交流を深めて参りました。

2日目の研修は、コーチング・オフィス・ライズの田中薫氏から「好感度アップトレーニング」を題目に、会話の中で相手に好感を持たれる言葉使いや聞き上手になる方法、お辞儀の作法などを学びました。

また、今回も当女性部から家の光記事活用作品や手作り加工作品を展示し、有意義なうちに2日間の大会を終えました。

酪農青年部研修会

えんゆう農協酪農専門部は1月30日から31日にかけて、札幌市中央区にあるホクレン本所の生乳共販課にて研修会を実施しました。

生乳共販課は主に①生乳受託販売に係る企画・立案②乳業者との取引交渉、生産対策、国との折衝③牛乳・乳製品需要拡大事業、酪農理解醸成事業等④指定団体情報発行⑤酪農教育ファーム・地域交流牧場全国連絡会（交牧連）に係る業務等を行っております。

研修は生乳共販課 中森康介調査役により、参加した部員たちに生乳需給について説明して頂きました。

現在、全国の生乳生産量は北海道が半分を占めており、その一方で毎日生産されるが腐敗しやすく貯蔵性が無い等の特性により、需要に応じた飲用向け・乳製品向けの仕向け調整が不可欠であると説明して頂き、また生乳生産量の所得の推移や生乳需給の現状と課題についてもお話を頂き、短い時間でしたが、大変有意義な研修となりました。



研修会の様子

研修を終えた後は帰路につき、途中天候に恵まれないこともありましたが、無事帰宅し、視察研修を終えることができました。

低品質粗飼料の給与と牛に与える影響について学ぶ えんゆう乳牛検定組合講習会



講習会の様子

えんゆう乳牛検定組合（緑川将仁組合長）は、2月18日にJA遠軽支所にて講習会を開催し、講師としてホクレン生産技術課の尾形正貴課長を招き、低品質粗飼料の給与と牛への影響について教えて頂きました。低品質粗飼料とは、主に刈遅れた牧草の事を指し、そのまま牛に与えると採食量の低下のほか、乳量や繁殖などに影響が発生します。尾形課長から、刈遅れによって起こる牧草の栄養価の変化のほか、刈遅れ牧草の対策、牛の栄養管理などわかりやすく説明して頂きました。その後、活発な質疑応答があり、盛会のうち閉会することが出来ました。

株式会社安国コーポレートファーム



設立報告会の様子

去る平成30年12月22日、遠軽町生田原ノースキングにて「株式会社安国コーポレートファーム」の設立報告会が開催されました。自給飼料の品質向上・安定的な確保、新たな

労働力補完システムの構築を目的に平成22年から活動を始め、耕畜連携を取り進めてきた中で、個人経営を尊重した新たな農業形態の法人化を図る事を決定し、今日に至りました。

酪農・畑作の垣根を超え、農地を法人に集約して、ブロッコ輪作を行い、機械の共同利用・作業の協業化、お互いの得意分野を融合した新たな地域農業のあり方として、当農協管内では初めての取組に対し、心よりお祝い申し上げますと共に、地域に根差した農業協同組合として一助となれるよう支援してまいります。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを
をご覧ください。

J A北海道中央会



J Aグループ北海道は、児童養護施設からの卒業を控えた高校生を対象とした調理実習体験「おとなの食育」を札幌市内で開催しました。

この取り組みは、自立支援活動として、J Aグループ北海道と興正こども家庭支援センターが共催しており、今回で6回目の開催となります。

高校卒業後、一人暮らしを始める生徒が多く、施設から巣立った後も栄養バランスを考えた食生活を送ってもらい、健康に過ごしてほしいという趣旨で実施しています。高校生10名が参加し、身体に必要な栄養素や食材の消費・賞味期限など食の知識について学んだ後は、調理実習に挑戦。グループに分かれて役割分担をし、協力して楽しく料理する姿が見られました。



J A北海道信連



J Aバンク北海道は、地域貢献活動の一環として、野球観戦を通じて子供達に夢や希望を持つてもらうことを目的に、「ファイターズ・ドリームシート」に協賛し、今シーズンは福祉団体を通じて1、200名余りの子供達を招待しました。

「初めて野球の試合を見て楽しかったです。」「声がかれるほど応援しました。」等の感想をいただき、多くの子供達に楽しんでいただきました。



ホクレン



J Aとホクレンは労働力確保が深刻になりつつある生産現場と、障がい者の社会参加を希求する福祉側とのマッチングを目指す農福連携研修会を昨年12月、札幌市内のホクレンビルで開きました。大学研究者や実際に障がい者を雇用している生産者・J Aの他、北海道庁職員ら70人余りが参加。グループディスカッションでは農福連携の実現に向けた課題と、今後の可能性などについて積極的な意見交換が行われました。



J A共済連北海道



J A共済では、『こども共済』資料請求キャンペーンを実施しております。Webで「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『J A共済オリジナル アンパンマンお食事エプロン』をプレゼントしております。キャンペーンは平成31年3月20日（水）まで、先着60、000名様となっております。

この機会にJ A共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！



J A北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



畑作

近年融雪期が早まるに伴い、春耕期作業の始まりが早くなってきています（表1・2）。効率良く春耕期作業を行うために、いつでもほ場に入れる準備をしておきましょう。

一 春耕期作業に向けて

ほ場から速やかに雪をなくすために、融雪剤を散布しましょう。写真1のように融雪剤を撒く意義や効果は明らかです。

さらに、写真2のようにほ場内に停滞水が発生しやすいところは、あらかじめ、溝切りやサブソイラーなどで、排水対策に取り組みましょう。これは、透水性を良くする効果もあるので、近年多発しているまとまった降雨や、干ばつなどの異常気象の対策にもつながります。

二 H31年産秋まき小麦

H31年産秋まき小麦の種は順調に行われました。

しかし、秋が長く根雪が遅くなったため、越冬前の生育が平年値を大きく上回る結果となりました（表3）。生育旺盛で越冬を迎え、写真3の

ように下部の葉身が黄色くなる肥料切れ症状を起こして越冬するほ場も見受けられました。

起生期には、生育状況に応じた施肥を行いましょ。

表1 H30年度融雪期平年値比較

	遠軽町	湧別町	佐呂間町
平年値	4月12日	4月9日	4月10日
H30年	4月4日	4月3日	4月2日
平年差	+8	+6	+8

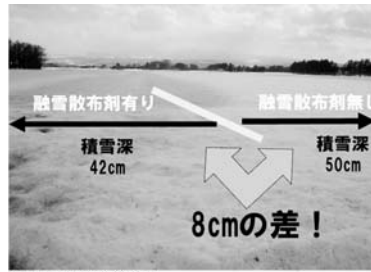


写真1 融雪剤の効果

表2 H30年耕起始平年値比較

区分	耕起始	
	H30年	平年値
遠軽町	4月27日	5月2日
湧別町	4月24日	5月1日
佐呂間町	4月21日	4月27日



写真2 停滞水発生ほ場

表3 H31年産越冬前の生育平年値比較

	莖数	
	H31年産	平年値
遠軽町	603	241
湧別町	908	551
佐呂間町	1,531	646



写真3 越冬前肥料切れ株

畜産

一 適期に採草地の施肥を行いましょ

春先の施肥管理は一番草の収量に大きく影響します。施肥量は同じでも、施肥時期が遅れると牧草収量が大きく減少するので、萌芽期（牧草地全体がうっすらと緑色になった頃）に施肥を実施しましょう。

二 萌芽期の施肥

牧草は気温が5℃以上になると牧草の芽が動き出し、根からの養分吸収が始まります。

チモシー主体草地では、萌芽期までに施肥を行うことで、収量をさらに向上させることができます（図一）。これは、窒素吸収が盛んな萌芽期（表一）に施肥することで、有穂茎（穂が出る茎）が多くなるからです。有穂茎は栄養茎（穂が出ない茎）より重いので収量が増加します。

したがって、施肥量が同じでも春の施肥時期が早いほど有穂茎数が増え、乾物収量の増加が期待できます（図一）。

経年草地では、表面が茶色でも枯草の下で萌芽している場合があるので、ほ場の確認が必要です。

三 施肥の配分

年間の施肥量は表二の通りですが、刈り取り利用回数によって早春の施肥量が変わります。チモシー主体草地では二回刈りを前提とし、早春施肥量が二に対し、一番草収穫後の追肥は一の割合とします。追肥のタイミングは、刈り取り後五〜十日が目安となります。

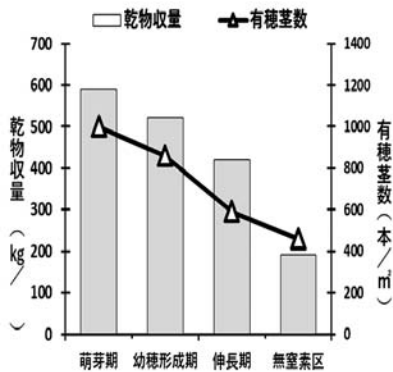


図1 早春の施肥時期ごとのチモシー1番草乾物収量（松中・小関 1985から作図）

表1 各町村のチモシー萌芽期

	遠軽町	湧別町	佐呂間町
萌芽期(平均値)	4月18日	4月18日	4月21日

表2 チモシーの施肥標準 (kg/10a年間)

マメ科率	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
30%以上	4	8	18
15~30%	6	8	18
5~15%	10	6	18
5%未満	16	6	18

※台地土の場合 北海道施肥ガイドより

理事会のあらまし

第1回理事会

(平成31年2月27日)

◇報告事項

1. 決算棚卸の結果について
2. 理事に対する資金の貸付報告について
3. 平成30年度資産自己報告査定結果について
4. 監事監査規定の一部変更について
5. 組合員の異動について
6. 中期計画アンケートの結果について
7. その他



◇議案

1. 平成30年度決算および剰余金処分(案)について
原案通り承認されました
2. 第20回通常総会日程及び提出議案について
原案通り承認されました
3. 定款52条第9号に該当するクミカン貸越極度額の設定について
原案通り承認されました
4. 理事に対するクミカン貸越極度額の設定について
原案通り承認されました
5. 組合員に対する転貸資金の貸付について
原案通り承認されました
6. 事業運営の方向性について
「持続可能な事業運営のあり方」について
7. 平成30年産玉葱の仮払い(第2回目)について
原案通り承認されました
8. 平成31年度経営定期点検の実施計画について
原案通り承認されました
9. 出資金の譲渡について
原案通り承認されました

読者の声

2月の前半、大変寒さが厳しかったけれど、下旬からは暖かく春めいて気持ちいい。

(P・N 満腹)

厳しい寒さから一変、雪解けも進み、少しずつ春の訪れが来ていますね。



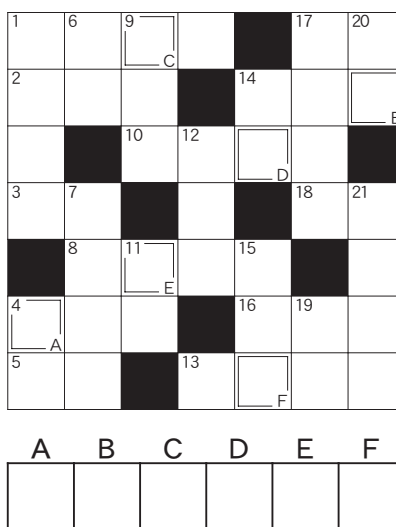
今年ももう少ししたらビートの種おろしが始まります。主人と二人豊穣の秋をめざして頑張りますので、サポートよろしく願います。

(匿名)

豊穣の秋を迎えられますよう、ご祈念申し上げます。

お詫びと訂正

先月発行致しました、「ひざし」No.240号の別紙差込「平成31年度 農事部長・専門役員会役員名簿」に誤りがありましたので、今月号に訂正版を別紙にて差込致します。組合員の皆様に心からお詫び申し上げます。



2月号の答えは「マメマキ」でした。少ずつ春らしくなってきました。当選者は下記の方々です。

湧別町南兵村三区 福本 和子さん
 湧別町北兵村一区 牧野 悦子さん
 遠軽町生田原八重 西原 弘子さん

～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り 3月25日(月)

ヨコのカギ

- 1 ホー、ホケキョ!
- 2 わずかな希望のことを——の望みともいいます
- 3 当たりかな、外れかな
- 4 カビが増殖するために飛ばします
- 5 春・夏・秋・冬と巡ります
- 6 長湯をして——のように真っ赤になつた
- 7 受験生に問題用紙と——用紙が配られた
- 8 しょうゆ、みそ、塩、豚骨……色んな味があります
- 9 開店祝いの札を付けた物が店先にずらりと並ぶことも
- 10 耳たぶに穴を開けて着けます
- 11 2本で1膳と数えます
- 12 祝いの席では尾頭付きが用意されることもあります
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18

タテのカギ

- 1 片目だけパチンとつむります
- 2 夜空できらめきます
- 3 不満がたまるとこぼしてしまうこと
- 4 ショベルカーやブルドーザーなどのこと
- 5 ホエールはクジラ、ドルフィン——
- 6 師匠に就いて学ぶ立場です
- 7 丸木を組んで作る舟
- 8 平和の象徴とされる鳥
- 9 コンビニで免許証の——を取った
- 10 機嫌がいいときに漏れる「フンフンフーン♪」
- 11 なめて味わうお菓子
- 12 アイロンをかけてのばします
- 13 ——先は闇、慎重に進みたいものです
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21

『労働保険・傷害共済の年度更新取りまとめについて』

日頃より労働保険業務に対し特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。31年度の取りまとめを下記の通り行いますので宜しく願い申し上げます。

(労災雇用保険)

- * 2月中旬に加入申込書・賃金報告書を委託事業主様へ送付しております。労災保険に新規加入・解除及び日額変更の申込をお願いします。申込書は変更がない場合でも必ず提出願います。

(新規加入・変更を4月1日より保険対象にする場合には、3月20日までに提出して下さい!!)

- * 賃金等の確定申告提出期限は、3月20日 提出先は、共済課まで
- * 労働保険料及び事務組合手数料の納付は、8月31日です。

(事前に登録されていますクミカン・貯金より引き落とし致します。)

雇用労働者対象の労災保険に加入している委託事業主の皆さんへ!!

労働保険料算定基礎賃金等の報告書(組様式第4号)を押印して必ず提出して下さい。(当年度に雇用する予定が事情により雇用がなく賃金の支払がない場合でも0円で必ず報告)

(JA傷害共済)

- 契約期間は1年ですが、加入者ごとに加入期日が異なります。
- 新規加入・変更する場合には、3月20日までに提出してください。
- 申込書の提出がない場合には、前年と同様の加入可能な内容で更新します。

労働災害保険とJA傷害共済に加入してWの保障!!

ご存知のことと思いますが、農作業の機械化が進み、毎年度農作業中の事故が多数発生しています。農業は、他の産業に比べて事故リスクが高い産業になっているのが現状です。

- 万一の農作業事故に備えて労災保険・傷害共済に加入して下さい。
- * 特にアルバイト・使用人等雇用労働者がいる事業主は必ず労災保険に加入して下さい。万一の時治療費は全額支払われ、休業補償等も支払われます。それ以上に相手に対し変な気を使わずに治療に専念してもらえます。

春の農事部懇談会開催について

例年実施しております春季農事部懇談会を下記の日程により開催いたします。
日程上、都合の悪い場合は、本所営農課もしくは各支所までご連絡お願いいたします。



【春季農事部懇談会日程】

	午前 10:00~12:00	午後 13:30~15:30
3月28日(木)	屯市・5の2・5の3 JA本所会議室	4の3・5の1 JA本所会議室
3月29日(金)	開盛・札富美・旭 JA本所会議室	富美・上富美 富美住民センター
4月1日(月)	4の1・4の2 JA本所会議室	遠軽・学田・清川 社名淵・瀬戸瀬第1,2 JA遠軽支所会議室
4月2日(火)	安国・生田原・清里 JA生田原支所会議室	丸瀬布・白滝(※) 白滝国際交流センター コピエ

※丸瀬布・白滝地区懇談会につきましては13:45~となります。

第223号 小惑星探査機はやぶさ2

もまたま作造くん

作: HIDE TO
絵: HISAMI